

★ 特集：空間を上質に仕上げる ★

腰壁や幅木等を上質に彩る 天然石樹脂仕上げ材

ヤブ原産業(株) 販売営業部
坂本 昌宏

1. はじめに

当社では天然石を用いた舗装材(床材)を「天然石景観材」という名称で、30年以上に渡り、開発・製造してきた。強度と透水性を両立させた「彩アストン」と、日本の伝統的工法の“洗い出し”を手軽に再現できる「彩洗い出し」を「彩シリーズ」としてラインナップしている。

これまで天然石景観材は建築業界において、床材として多く使用されてきた。当社は近年、腰壁や幅木の立面にも施工しやすい特殊ウレタン樹脂(バインダー)を開発し、かつ独自の工法を確立した。素材と質感で重厚感を生み出すことにより、空間にアクセントを付加し建築物を上質に彩る。

本稿では、『彩立上りビーンズ』と『彩立上り洗い出し』を紹介する。

2. 『彩立上りビーンズ』と『彩立上り洗い出し』

2-1 『彩立上りビーンズ』製品の特長

『彩立上りビーンズ』は有名なお菓子である“雷おこし調”の仕上げ材である。(写真1)

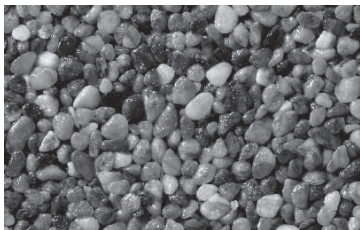


写真1

『彩立上りビーンズ』は、天然石と特殊ウレタン樹脂(下塗り用・骨材混練用)により、腰壁や幅木等の立面を容易に施工できる仕上げ材である。カラフルなデザインに仕上がりに、空間においてアクセントを付けることができる。耐水性と

耐候性かつ耐久性が高い仕上げ材である。

そして、乾式板とは異なり湿式の塗り材料であるため、現場で自由な形状に施工できるという特長を有している。

2-2 施工方法

施工手順は以下のとおり。



写真2



写真3



写真4



写真5

- ①下塗り用バインダー塗布(写真2)
- ②骨材混練用バインダーと化粧骨材の混練(写真3)
- ③塗り付け(写真4)
- ④コテ押さえー最終養生(写真5)

2-3 『彩立上り洗い出し』製品の特長

『彩立上り洗い出し』は、在来工法の“洗い出し調”の仕上げ材である。(写真6)



写真6

『彩立上り洗い出し』は特殊ウレタン樹脂(下塗り用・骨材混練用)により、腰壁や幅木等の立面を容易に施工できる仕上げ材である。カラフルなデザインに仕上がるが、専用セメント系目詰材を充填することにより落ち着いた表情を醸し出す。『彩立上りビーンズ』より、耐水性と耐候性かつ耐久性が高い仕上げ材である。在来工法の洗い出しとは異なり、水で洗い流す必要が無いので汚泥が出ず、内部での施工も容易である。

そして、乾式板とは異なり、湿式の塗り材料であるため、現場で自由な形状に施工できるという特長を有している。

2-4 施工方法

施工手順は以下の通り。

前述の『彩立上りビーンズ』が仕上がった状態で、翌日以降に専用セメント系目詰材を充填する。

3. 仕様と施工例

用途としては階段部の蹴上や幅木、手摺壁、腰壁、門柱、モニュメント等である。(施工できる高さは1m程度である) 製品の性質上、寺社仏閣において使用されることが多い。

- ・彩立上りビーンズ1分石 8mm厚 1㎡セット(写真7、8)
- ・彩立上りビーンズ2分石 8mm厚 1㎡セット(写真7、8)
- ・彩立上り洗い出し1分石 8mm厚 1㎡セット(写真9、10)
- ・彩立上り洗い出し2分石 8mm厚 1㎡セット(写真9、10)



写真7



写真8



写真9



写真10

4. 今後の展開

- 当社は天然石樹脂仕上げ材における製品開発において、
- ・天然石の選定(社内規格における強度確認、安定供給等を考慮する)
 - ・天然石以外の原料の選定(バインダー、プライマー、目詰め材等の性能、並びに毒物及び劇物取締法に該当しないものを採用する)
 - ・工法の考案を三位一体として常に捉えてきた。
- 製品の耐久性並びに環境対応性が求められる昨今、施主様、施工業者様に対して安心して提供できる製品開発に取り組んでいきたい。